



桃井第一通信

No. 6 2 3

桃井第一小学校
(3390) 3178 (代)

平成30年 12月号



「もっと知りたい！大いなる豆」

校長 平田 英司

食育は、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を身に付け、生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性をはぐくんでいく基礎となるものです。近年、「食」をめぐる環境が変化しています。そこで、健全な食生活を実践することができる子どもたちを育てるために、食育を推進することが求められています。食生活のあり方は、個人の価値観や考え方に負うところが大きく、その自由な判断と選択に委ねられているからこそ、小学生のうちから「食」への理解を深め、「食」に関する知識や「食」を選ぶ力を身につけることが大切であると考えています。

今回は、3年生が「総合的な学習の時間」で学んでいる「大豆はかせになろう」についてお伝えします。

まずは、国語の説明文「すがたをかえる大豆」で学習します。大豆は色々な食品にすがたをかえて食べられています。大豆はダイズという植物の種です。ダイズを若いうちに収穫し、さやごとゆでて食べるのが枝豆です。大豆は、豆腐や納豆、味噌や醤油など様々な食品にすがたをかえます。また、大豆は味もよく、畑の肉と言われるほどたくさんの栄養を含んでいます。その上、やせた土地にも強く、多くの地域で育てられています。こうしたことを国語の学習で知識として学びます。

次に、総合的な学習の時間の導入として、給食の献立表から、どの程度大豆製品が使われているかを調べます。11月の献立では、油あげ、大豆油、豆腐、味

噌、大豆もやしなど、ほぼ毎日大豆製品が使われていることを実感します。ここでは、国語で学んだ知識を給食という実生活に結びつけて考えます。

また、栄養士が授業に加わり、大豆の栄養やたくさんの大豆製品が生まれた理由、大豆を使った世界の料理などを紹介し、大豆が給食にたくさん使われている理由を子どもたちに伝えます。大豆は、どのくらい昔から食べられているのだろうか、もっとおいしく食べる工夫を調べたいなど、子どもたちはもっと大豆のことを知りたいと感じているようでした。家でも給食でも、もっと大豆製品を食べたいという感想を聞くこともできました。

今後は、大豆について抱いた疑問をもとに調べ学習を行い、さらに12月には、「味噌づくり」を体験します。日本の伝統的な食品である味噌づくりを体験し、日本の食文化を学びます。こうした学習は、生涯にわたって健康的な食生活を送ることについて考える素地を養うことにつながると考えています。



学校ニュース おめでとうございます。

- ・第30回練馬区スポーツ少年団剣道大会において、6年生児童が6年男子の部で優勝しました。
- ・第15回すぎなみ本の帯アイデア賞に 5年生児童が入選しアイデア賞をいただきました。
- ・第29回杉並区区民体育祭スポーツレクリエーション大会において 放課後スポーツのチームが小学生の部で優勝しました。

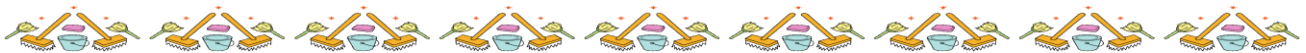
☆12月の校庭開放は芝の養生のため中止いたします。

12月の生活目標 「学校をきれいにしよう」

桃一小では、お昼休みの後に清掃を行っています。子供たちは、自分たちが使う教室はもちろん、廊下や靴箱をていねいに清掃しています。また、4年生以上の学年は音楽室や図工室など専科の教室、体育館などみんなが使う場所も担当し、きれいにするようにしています。

12月の生活目標は「学校をきれいにしよう」です。ゴミが落ちていたら拾う、自分から進んで掃除をするなど、当たり前のことですが、しっかりと身に付けることができるよう指導しています。そして、子供たちが自分たちで掃除をし、気持ちよく学習、生活できる環境を整えていけるようにしていきます。

2学期も残りわずかです。一年間の汚れをすっきり落として、気持ちよく冬休みを迎えることができるようにしていきます。



桃一美術館143を终えて



11月16日（金）・17日（土）の二日間、桃一美術館と授業公開はご来賓はじめ、たくさんの保護者の皆様、地域の皆様にご観覧いただき、また、たくさんの温かい励ましをいただきました。

児童鑑賞日では高学年の子供たちが低学年の作品を「よく頑張っているね」と優しい気持ちで見ていた様子が印象的でした。低学年生にとっては高学年生への憧れが高まった日でした。

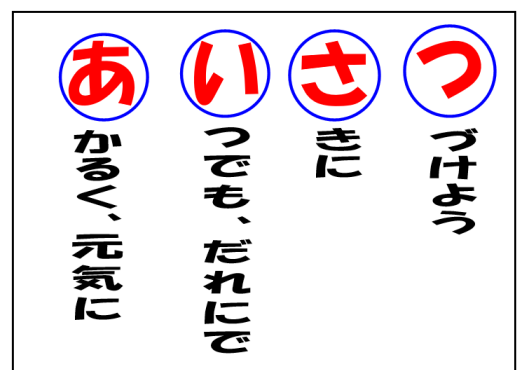
桃一小の子供たちのよさがたくさんみられたうれしい二日間でした。ありがとうございました。



代表委員会の取組について

代表委員会では、毎月一週間『あいさつ運動』を行っています。桃一小で元気な挨拶がたくさんあふれるよう、代表委員会のみんなが校門や昇降口のところに立って「おはようございます。」と元気に声をかけています。

12月に行われるユニセフ活動でも、井荻中学校の生徒会と代表委員会で連携して同時期に活動を行うようにしています。



3年生の取り組み

社会「わたしたちのくらしと商店」



社会の「わたしたちのくらしと商店」の学習で、学校の近くのスーパーマーケットを見学しました。

事前に家庭の買い物を調べて「スーパーマーケット」が多いことから調べる計画を立てました。

「野菜を切って売るのは…。」「お肉をパックするために…。」「買い物しやすいように品物をまとめている。」など実際に行ってみて分かったことがたくさんありました。

総合「地域安全マップ」

総合の学習として、学区内の安全な場所や危険な場所を調べて、「地域安全マップ」を作りました。「見通しがある公園だから安全だ。」「ガードレールがないから危険だね。」「ピーボ君の表示がある。」など、自分の担当の地区を丁寧に調べました。グループで協力し、役割を分担しながらどのような場所に気を付ければよいか、判断することができました。また、調べたことをマップにまとめて地域の安全な場所・危険な場所をみんなで確認しました。



総合「ケアハウス今川訪問」



近くにある「ケアハウス今川」で交流学习を行いました。

施設の高齢者の方々に楽しんでもらうために、リコーダーの演奏や歌などを披露しました。発表の後は、グループ毎に分かれ、交流しました。最後には「また来てね」と声をかけてもらい、子供たちもとても嬉しそうにしていました。高齢者の方々とかわる際に、「大きな声でゆっくり話す。」「施設で働いている人は分かりやすく伝えていた。」など、大切な視点も学習することができました。

社会「区内めぐり」

「杉並区の様子を調べよう」ということで、郷土博物館や阿佐ヶ谷にあるパールセンター商店街などを見学しました。大きな商店街にはたくさんのお店があり、また買い物をしやすい工夫も、随所に見られました。

郷土博物館では、囲炉裏での火吹き体験や石臼で大豆を粉にする体験を行いました。「火が大きくなった。」「煙にはそんな役割もあるのか。」「粉がやわらかくていい匂い。」「重すぎて動かない。」など、実際に行ってみて、様々な学びがありました。



体験的な活動を大切にして、学習を深めていけるようにしています。